

## 長崎外国語大学 成績評価ガイドライン

2018 (平成 30) 年 9 月 1 日

大学協議会

### (趣旨)

第 1 長崎外国語大学成績評価ガイドラインは、本学における学士教育課程の単位の実質化ならびに教育の水準を担保するため、授業科目の成績評価に際して指針となる基準と評価方法などを定めるものである。

### (評価の基準など)

第 2 成績の評価、評点、評定、評価内容基準を以下のように定める。

判定	評点	評定	f - GP	成績評価内容の基準
合格	90~100	秀	3.5~4.5	授業科目の内容を修得し、その到達目標を優れて満たす。また、主体的学修の成果も優れて認めることができる。
	80~89	優	2.5~3.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を十分に満たす。また、主体的学修の成果も認めることができる。
	70~79	良	1.5~2.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を概ね満たす。また、主体的学修の成果も十分ではないが認めることができる。
	60~69	可	0.5~1.4	授業科目の内容を修得し、その到達目標を必要最低限度満たす。
不合格	59 点以下	不可	0	授業科目の内容を修得したと認められず、到達目標の必要限度も満たさない。

2 単位認定のみ行う科目については、前項によらず、認定、互換、合否など別表記とする。

### (評価方法)

第 3 成績評価は、試験、レポート、小テストのみならず、報告・発表、反転授業などのアクティブラーニング手法による授業への参加状況といった、多様な評価方法の中から、各授業科目の形態、内容、目標に応じ、1つによらず、複数選択して行うものとする。ただし、成績評価方法のうち、最終定期試験の評価割合は、原則 60%を超えないものとする。

2 成績評価にあたっては、授業の学修成果が適切に反映されるような評価方法でなければならない。

(評価基準と方法の周知)

第4 成績評価の方法と評価基準については、シラバスで到達目標などをあらかじめ明記するとともに、履修学生に周知をはかるものとする。

(成績評価の説明)

第5 授業担当教員は、成績評価に関する学生の質問および評価結果への異議などには、適切に応えるものとする。

(その他)

第6 本ガイドラインに関し必要な事項は、大学協議会において審議し、学長が決定する。

付記 このガイドラインは2018（平成30）年9月1日から実施する。ただし、評価基準のf-GPについては、2015（平成27）年度入学生から適用する。